

県内観光エリア別 令和4年の主な増減要因

令和5年3月策定の第5期神奈川県観光振興計画に合わせ、本年より県内を7つのエリアに分けて分析を行いました。

- **横浜・川崎エリア**では、横浜市で、「横浜港大さん橋国際客船ターミナル」等への来訪者の増加や、「ヨルノヨ」等イベントへの参加者の増加により、1,891 万人増加しました。また、川崎市では、「川崎競馬場」等への来訪者の増加などにより、309 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 2,200 万人増加しました。
- **箱根エリア**では、小田原市で、「小田原城址公園」等への来訪者の増加や、「曾我梅林(梅まつり)」等イベントへの参加者の増加などにより、197 万人増加し、過去最高の入込観光客数となりました。また、箱根町では、「箱根関所・資料館」等への来訪者の増加などにより、386 万人増加しました。真鶴町では、コロナ禍においても来訪が多かった磯遊びや釣り客などが減少したことなどにより、2万人減少しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 612 万人増加しました。
- **湘南エリア**では、鎌倉市で、大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の放送、「鶴岡八幡宮」や「鎌倉海岸」等への来訪者の増加などにより、539 万人増加しました。藤沢市では、「江の島サムエル・コッキング苑」等江の島への来訪者の増加などにより、364 万人増加しました。大磯町では、「大磯港賑わい交流施設(OISO CONNECT)」や、「大磯海岸」「大磯ロングビーチ」等への来訪者の増加などにより、41 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 1,157 万人増加しました。
- **丹沢大山エリア**では、厚木市で、「鮎まつり」や「あつぎ国際大道芸」等イベントの再開などにより、119 万人増加しました。愛川町では、「県立あいかわ公園」や「宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館」等への来訪者の増加などにより、58 万人増加しました。清川村では、コロナ禍においても来訪が多かった宮ヶ瀬等への来訪客が減少したことなどにより、10 万人減少しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 246 万人増加しました。
- **相模湖・相模川流域エリア**では、相模原市で、「相模川ふれあい科学館」等への来訪者の増加や、「大野北銀河まつり」等イベントの再開などにより、110 万人増加しました。また、海老名市では、「えびな市民まつり」や「エコカーフェスタ in えびな」等イベントの再開などにより、27 万人増加しました。綾瀬市では、「光・食・文化の祭典～Ayase Base side Festival」等イベントの再開などにより、7万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 149 万人増加しました。

- **三浦半島エリア**では、横須賀市で、「三笠公園」等への来訪者の増加や、「よこすか開国花火大会」等イベントの再開などにより、234 万人増加しました。逗子市では、「逗子海岸」等への来訪者の増加や、「NIGHT WAVE」等イベントの再開などにより、16 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 259 万人増加しました。
- **足柄エリア**では、松田町で、「桜まつり」や「寄ロウバイまつり」等イベントの再開などにより、15 万人増加しました。開成町では、「あじさいまつり」等イベントの再開などにより、19 万人増加しました。これらにより、地域全体での入込観光客数は 58 万人増加しました。